

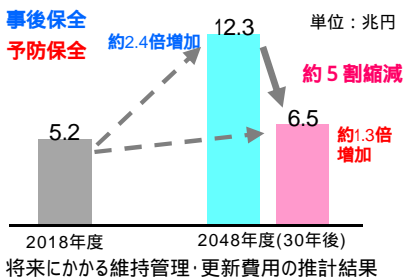
国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画) 令和3年度～令和7年度 概要

「国民の安全・安心の確保」「持続可能な地域社会の形成」「経済成長の実現」の役割を担うインフラの機能を、将来にわたって適切に発揮させる必要
 メンテナンスサイクルの核となる個別施設計画の充実化やメンテナンス体制の確保など、インフラメンテナンスの取組を着実に推進
 更に、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和2年12月11日閣議決定)」等による**予防保全への本格転換**の加速化や、**メンテナンスの生産性向上の加速化、インフラストック適正化の推進**等により、**持続可能なインフラメンテナンスの実現**を目指す

計画の範囲

【対象施設】国土交通省が制度等を所管する全ての施設
 【計画期間】令和3年度～令和7年度(2021年度～2025年度)

中長期的な維持管理・更新等のコストの見通し



・予防保全型インフラメンテナンスにより将来にかかる維持管理・更新費用を縮減
予防保全型インフラメンテナンスの取組の徹底が重要

これまでの取組と課題

平成26年5月策定の国土交通省インフラ長寿命化計画に基づき、以下の取組を実施

メンテナンスサイクルの構築

・個別施設計画の策定
 ・計画内容の見える化
 ・点検実施によるインフラ健全性の把握
 ・点検要領の改定
 ・法令等の整備 等
地方公共団体管理施設も含めインフラメンテナンスのサイクル構築が図られたと評価

将来にかかる維持管理・更新費の抑制

・修繕等の措置への財政的支援
 ・集約・再編に関する事例集等の作成 等
早期に措置が必要なインフラが多数残存、機械設備をはじめ耐用年数が到来するインフラの存在

メンテナンスの生産性向上

・広域的な連携の促進(情報提供の場の構築、地域一括発注の取組等)
 ・官民連携手法の導入促進
 ・維持管理に関する資格制度の充実
 ・維持管理情報データベース化、施設管理者間・分野間でのデータベース連携
 ・新技術の開発・導入推進
 ・管理者ニーズと技術シーズのマッチング 等
多くのインフラを管理する地方公共団体等ではメンテナンスに携わる人的資源が依然不足

今後の取組の方向性

目指すべき姿

持続可能なインフラメンテナンスの実現

計画期間内に重点的に実施すべき取組

計画的・集中的な修繕等の確実な実施による「予防保全」への本格転換

「**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策**」により取組を加速化(概ね1.5兆円程度)

・予防保全の管理水準を下回る状態となっているインフラに対して、計画的・集中的な修繕等を実施し機能を早期回復



内部の鉄筋が露出した橋梁



クラックが生じた河川護岸

早期に措置が必要な施設の例

新技術・官民連携手法の普及促進等によるインフラメンテナンスの生産性向上の加速化

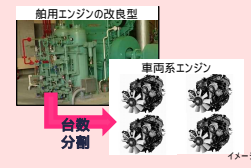
・地方公共団体等が適切かつ効率的なインフラメンテナンスの実施に資するため、新技術や官民連携手法の導入を促進



ドローンを活用した砂防関係施設点検

集約・再編やパラダイムシフト型更新等のインフラストックの適正化の推進

・社会情勢の変化や利用者ニーズ等を踏まえたインフラの集約・再編や、来たるべき大更新時代に備えた更新時におけるパラダイムシフトの検討等を推進



施設更新時、マスプロダクト型の推進により維持管理コストの縮減・リダンダンシーを確保

具体的取組の例

- 個別施設計画の策定・充実
 - 定期的な計画更新の促進
 - 計画内容の充実化 等
- 点検・診断/修繕・更新等
 - 早期に措置が必要なインフラへの集中的な対応による機能回復
 - マスプロダクト型排水ポンプの技術開発
 - 集約・再編に関する事例集等の作成・周知 等
- 予算管理
 - メンテナンスの取組に対する地方公共団体等への財政的支援 等
- 体制の構築
 - 研修等による技術力向上
 - 広域的な連携による維持管理体制の確保
 - 官民連携による維持管理手法の導入促進 等
- 新技術の開発・導入
 - NETIS等の活用による技術研究開発の促進
 - インフラメンテナンス国民会議等の活用による円滑な現場展開 等
- 情報基盤の整備と活用
 - データベースの適切な運用、情報の蓄積・更新、発信・共有 等
- 基準類等の充実
 - 適切な運用、必要に応じて適時・適切な改定

フォローアップ計画

・計画のフォローアップにより、進捗状況等を把握
 ・ホームページ等を通じた積極的な情報提供